



ゆうメール



9月の営業日

○の日はお休みです



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

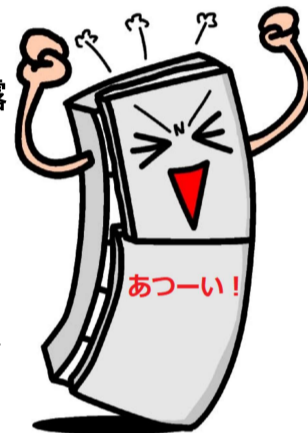
猛暑に、コロナに大雨と大変な昨今、皆さんお元気でお過ごしですか？ワクチン接種は終えられましたか？毎日なんだか落ち着かないですね。豪雨の被害は、ありませんでしたか？遠く離れたご家族は大丈夫でしたか？なかなか離れている家族と会えなくて心配ですね。1日も早く、平穏な毎日が戻りますようにと祈るばかりです。



暑い夏で、よくお客様から問い合わせがあったのが、冷蔵庫のこと。「冷蔵庫の側面がとても熱いけど大丈夫？爆発しない？」というご質問です。答えは、「大丈夫です。安心してください。」

昔の冷蔵庫は、冷蔵庫の後ろに放熱パイプがありましたよね。最近の冷蔵庫にはありません。冷蔵庫の前面と側面に放熱パイプを内蔵しています。設置直後や、外気温が高い時、食品をたくさん入れた時、ドアの開閉が多い時などに、庫内を冷却しようと頑張ると、50℃から60℃くらいになることもあります。かなり熱いです。

冷たい飲み物をグラスに注ぐとグラスに露が浮きますよね。冷蔵庫の中も冷たいので、そのままだと冷蔵庫の周りが露だらけになるのです。冷蔵庫のまわりがびちゃびちゃでは、大変ですよ。それを防ぐためでもあります。冷蔵庫には、保護装置がついていますので、異常発生時（温度が高い、大きな電流が流れる。無理な力がかかる場合）は、強制的に停止しますので、安心してください。冷蔵庫の周囲の気温が35℃以上になると放熱がうまくいかず、庫内が冷えにくくなります。そんな時は、換気をして、温度を下げてあげましょう。設置場所も、直射日光の当たらないところ、湿気が少なく風通しの良いところを選びましょう。電化製品も人間が過ごしやすい環境が、快適なのです。



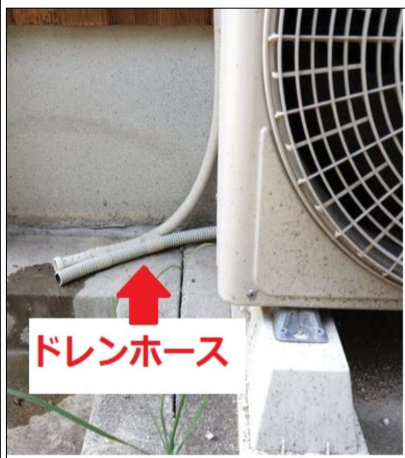
冷蔵庫のお話をしたので、エアコンのこともよくある質問にお答えしてみましよう。お部屋の方に、水漏れする原因についてです。夏場、冷房運転時は、エアコンの室内機の中が冷えるので、冷蔵庫と同じで、中に露が浮きます。で、それがドレンホースという蛇腹のホースから外に出ていきます。これが、なんらかの原因で詰まると室内機からお部屋のほうに、水が漏ったりします。例えば、外のホースの先が持ち上がっていませんか？虫が巣を作ったり、泥や草がはいつてふたをしていませんか？植木鉢などでホースの先に栓をしておいませんか？室内機のフィルターが汚れすぎていても、うまく結露した水が排水されないこともあります。室内機のふたを開けると、綿をかぶせたかのようにほこりがついてることがあります。時々、確認してみてくださいね。このほこりが、ドレンホースにはいつても詰まってしまいます。エアコン内部の熱交換器（アルミフィン）に汚れがたまって、同じように結露が発生しやすくなります。この場合は、ご自分では出来ませんので、エアコンクリーニングをさせていただきます。



それから、夏は、室内機が冷たくなるので、ドレンホースをつたって、水が外に出ます。でも、冬、暖房運転時は、室内機の空気が暖められると、外の機械は、冷たくなります。冷たくなる室外機は、露が浮き、室外機の下部からそのまま水が流れます。よく、ドレンホースから水が出ていませんとされます。それで、正解です。室外機が、凍るほど寒いとその氷を溶かす水も下に排出されます。

ドレンホースから出ている水を植物や動物にあげてはいけません。

ドレンホースからの水を植木鉢や、植え込みにいれては、だめです！枯れてしまいます！エアコンからの排水には、エアコン内に付着した汚れについてのカビやバクテリアなどが含まれています。わずかでも金属の成分が含まれていることもあります。ドレンホースから流れ出る水は、一見澄んでいるようですが、実は、汚いのです。エアコンクリーニングの時の洗浄液の汚れをみたことがある方は、びっくりされたと思います。どうぞ、大切な植物や、小動物に汚い水をあげないでください。



除湿器

に貯まった水もそうです。見た感じきれいそうですけど、除湿機のタンク内は常に水が溜まっている状態なので、時間の経過と共に雑菌やカビが繁殖しやすいです。そのため、溜まった水には空気中のホコリや雑菌、カビの胞子が混入して汚れています。間違っても洗濯に利用したりしないでください。



暑さとひどい雨と日照不足で、植物もかわいそう。でもお花を見るとほっとしますよね。今月は、そんなほつとを少しでも感じてほしいので、『ききょう』の種を同封します。小さな笑顔の種になりますように。

